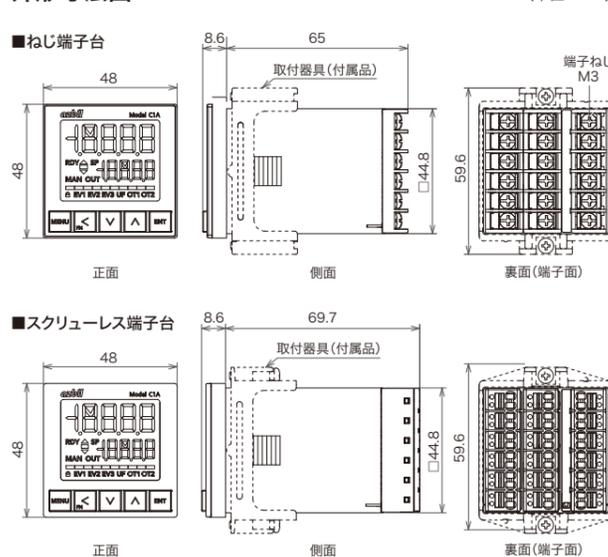


仕様

PV入力	入力種類	熱電対、測温抵抗体、直流電圧／直流電流
	入力サンプリング周期 指示精度	25、50、100、300、500ms ±0.1%RD±1digit(熱電対、測温抵抗体) ±0.1%FS±1digit(直流電圧、直流電流)
制御出力	制御方式	ON/OFF、時間比例PID、電流比例PID
	出力形式 (形番により選択)	・リレー出力:1c(SPDT) AC250V/DC30V 3A ・電圧パルス出力:DC12V±20% 許容電流 24mA以下 ・電流出力:DC0~20.4~20mA 許容負荷抵抗 600Ω以下
イベント出力	出力点数	最大3点
	出力形式	リレー出力 1a(SPST)
デジタル入力	入力点数	最大2点
	入力形式	無電圧接点 または オープンコレクタ
CT入力	汎用CT	最大2点 計測電流 1.0~100.0A 指示分解能 0.1A
	微小CT	最大1点 計測電流 0.10~10.00A 指示分解能 0.01A
VT入力	入力点数	最大1点
	測定電圧範囲	AC24~240V 50/60Hz(形 81406725-003使用時)
RS-485通信	通信プロトコル	CPL、Modbus準拠
	接続台数	最大31台
	通信速度	最大57600bps
一般仕様	使用周囲温度	-10~+55°C(密着取付の場合は-10~+45°C)
	定格電源電圧	AC100~240V 50/60Hz(AC電源モデル) DC24V、AC24V 50/60Hz(DC電源モデル)
	消費電力	10VA以下(AC電源モデル) 7VA以下(AC24V) 5W以下(DC24V)(DC電源モデル)
	適合規格	EN61010-1、EN61326-1 (For use in industrial locations) EN IEC63000
	構造	IP66(機器前面部)
	質量	130g(専用取付器具含む)

外形寸法図



ご注文・ご使用に際しては、下記URLより「ご注文・ご使用に際してのご承諾事項」を必ずお読みください。
<https://aa-industrial.azbil.com/ja/order>

- SDCは、アズビル株式会社の商標です。
- FINSは、オムロン株式会社の商標です。
- MELSECは三菱電機株式会社の商標です。
- Modbus is a trademark and the property of Schneider Electric SE, its subsidiaries and affiliated companies.
- その他本文中に記載している製品名、機種名、社名は、各社の商標または登録商標です。

【ご注意】 この資料の記載内容は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。本資料からの無断転記、複製はご遠慮ください。

アズビル株式会社

アドバンスオートメーションカンパニー

本社 〒100-6419 東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビル
 北海道支店 ☎(011)211-1136 中部支社 ☎(052)265-6247
 東北支店 ☎(022)290-1400 関西支社 ☎(06)6881-3383~4
 北関東支店 ☎(048)621-5070 中国支店 ☎(082)554-0750
 東京支社 ☎(03)6432-5142 九州支社 ☎(093)285-3530

製品のお問い合わせは
 コンタクトセンター ☎(050)1807-3520

初版発行:2022年 10月-SO
 印刷:2023年 9月(第3版)-SO

形番構成

※近日発売

基本形番	接続	制御出力	電源	オプション	追加処理	仕様
C11A	T					基本形番
	S					ねじ端子台
						スクリューレス端子台※
		R	0			制御出力1
		V	0			制御出力2
		V	C			リレー出力(c接点) なし
		V	C			電圧パルス出力(SSR 駆動用) なし
		V	V			電圧パルス出力(SSR 駆動用) 電流出力
		C	0			電圧パルス出力(SSR 駆動用) 電圧パルス出力(SSR 駆動用)
		C	C			電流出力 なし
				A		電流出力 電流出力
				D		AC電源(AC100~240V)
						DC電源(DC24V/AC24V)
				0		イベントリレー出力なし
				1		イベントリレー出力3点
				4		イベントリレー出力2点(独立接点)
				0	0	なし
				1	0	CT入力2点、DI2点
				2	1	CT入力2点、RS-485通信
				2	3	CT入力2点、RS-485通信、拡張データメモリ
				4	0	CT/VT入力、DI2点
				5	1	CT/VT入力、RS-485通信
				5	3	CT/VT入力、RS-485通信、拡張データメモリ
				6	0	微小CT入力、DI2点
				7	1	微小CT入力、RS-485通信
				7	3	微小CT入力、RS-485通信、拡張データメモリ
				0	D	追加処理なし
				0	Y	検査成績書添付
						トレーサビリティ証明対応
				0		なし
				A		UL対応品※

オプション部品(別売)

名称	形番	備考
取付器具	84515488-001	保守用
ガスケット	84515487-001	保守用、20個入り
ハードカバー	84515988-001	
ソフトカバー	84515985-001	
端子カバー	84515888-001	ねじ端子台モデル用
DINレール取付器具	84515986-001	ねじ端子台モデル用
カレントトランス	QN206A	800ターン、穴径5.8mm
	QN212A	800ターン、穴径12mm
ポルテージトランス	81406725-003	1次側200V、2次側10V
スマートローダ	SLP-C1FJA1	USBローダケーブルなし
パッケージ※	SLP-C1FJA2	形 C1A用USBローダケーブル(形 SLP-ULCJA0)同梱
	SLP-C1FJA3	形 C1A用USBローダケーブル(形 SLP-ULCJA0)、形 C1M用USBローダケーブル(形 81441177-001)同梱
USBローダケーブル(A-microB)	SLP-ULCJA0	形 C1A用USBローダケーブル
ライトアングル延長ケーブル	SLP-ULLJA0	形 SLP-ULCJA0用

※ソフトウェアは当社サイトより無償でダウンロードできます。
<https://aa-industrial.azbil.com/ja>



デジタル指示調節計 SDC
 形 C1A



導入から保守までの運用負荷を軽減



ご用命は下記または弊社事業所までお願いします。

工場・プラント向け製品・サービスの情報は、こちらのサイトからご覧いただけます。

<https://aa-industrial.azbil.com/ja>

48×48mmマスクの常識を変える
高い性能と使いやすさを両立。



充実機能

現場でお客さまと一緒に課題解決をしてきた温度調節計が、さらに進化しました。

サンプリング周期 25ms

入力精度 ±0.1%

ユニバーサル入力

IP66対応



〈実物大〉
縦48 × 横48mm

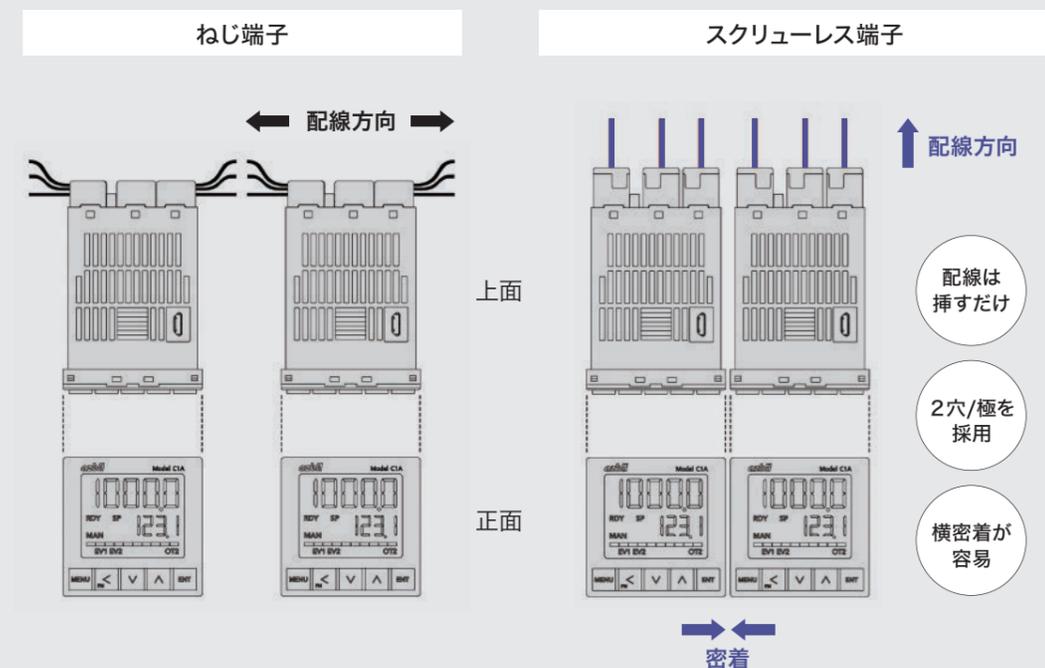
設計・設置

施工しやすく、配線もツールレス

端子台はスクリーレス端子も選択可能です。スプリング端子台の採用によりフェール端子を挿すだけで配線が完了します。また、電源、RS-485通信、イベント出力等の渡り配線を考慮した2穴/極を採用したことにより、配線工数の大幅削減を実現しました。さらに、配線を背面側に抜くことができるため、横密着時の施工性が向上し、効率よくレイアウトできます。



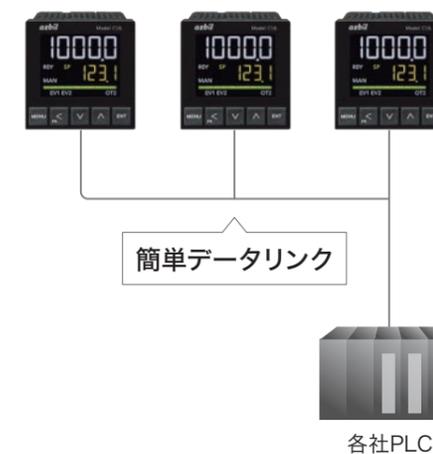
スクリーレス端子台 背面



PLCリンク機能でかんたん接続

シリアル通信 (RS-485) により通信プログラムレスでデータ通信を可能にすることで、エンジニアリングに要する時間と手間を削減します。

対応プロトコル	接続機器例
三菱QnA互換3C形式4	[三菱電機株] MELSEC iQ-R, MELSEC Q
オムロンFINS(上位リンク)	[オムロン株] CJ2, CP2
キーエンス プロトコルモード4	[株キーエンス] KV-8000/7000
Modbus™/RTU	[株キーエンス] KV-NANO [Siemens AG] S7-1200



わかりやすい大型LCD

大型LCDを採用し、4.5桁表示を実現。(-19999~19999)
離れた場所でも状態がひとめでわかるマルチステータス表示灯を採用しています。



パターン運転で工程にあわせた運転を実現

最大8パターン16セグメントのパターン運転機能を搭載^{※1}。各セグメントにはPID組番号、ギャランティソーク、セグメントイベントを設定可能です。停電復帰機能により、停電復帰後は停電前のパターン番号、セグメント番号、サイクル残り回数、セグメント経過時間から動作することができます。また、勾配表示部でランプ/ソーク状態の確認が可能です。

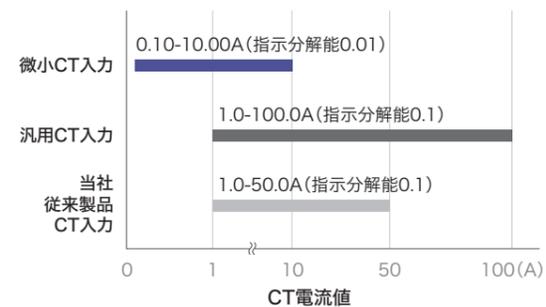
※1 オプション形番(拡張データメモリ付き)を選択した場合



微小CT計測でヒータ断線を見逃さない

汎用CT入力(1.0-100.0A)、微小CT入力(0.10-10.00A)の形番選択により広範囲のヒータ容量に対し、断線検知や交流電流計測などが可能です。

※ 実効値計測によりサイリスタの歪んだ波形でもヒータの電流値を検出可能。



スマートローダパッケージで簡単設定

専用のUSBローダケーブル(別売 形 SLP-ULCJA0)でパソコンと本体をつなぐことにより、パソコンローダでパラメータの読み出し/書き込みが可能です。パラメータ設定、試運転調整、動作確認など、さまざまなシーンで活躍します。

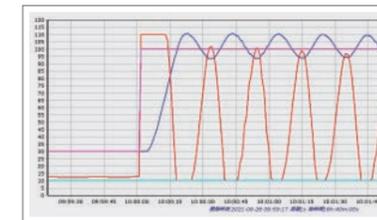


PIDシミュレータ

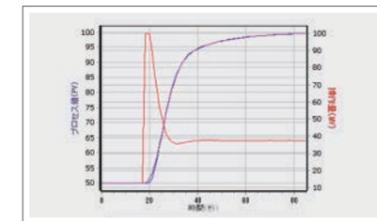
オーバーシュートやハンチングの低減に向けた作業を支援します。試運転調整時間が短縮され、装置のタクトタイム向上や品質向上が図れます。

〈注意事項〉

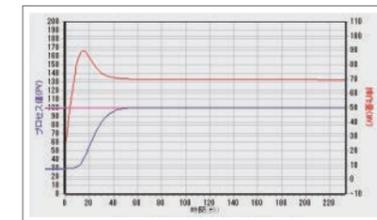
- 装置特性等によってはシミュレーション結果と実際の制御結果が必ずしも一致しない場合があります。
- 現在の制御系によっては改善が見込まれない場合もあります。
- PIDシミュレータは加熱冷却制御やカスケード制御、PID組切替等には対応していません。
- 装置データを採取する際は必ず設置予定の製品を使用した上でシミュレーションを実施してください。



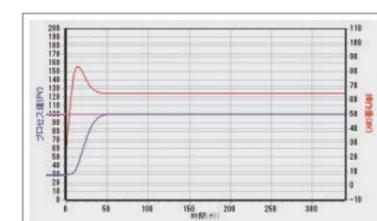
データ収集
装置データを収集します。



モデリング
装置特性を自動で分析します。



パラメータ調整
シミュレーションにより各パラメータを調整します。



実機チェック
装置で実際の制御性を確認します。

保守メンテナンス

交換が容易なドロワー構造

突然の計器故障にも素早く対応。
専用工具無しで前面から計器内部を交換可能なドロワー構造です。



※ ドロワーアウトした場合、製品の保証条件が異なります。
詳細条件は取扱説明書を参照ください。

CBM^{※1}に便利なアセット情報

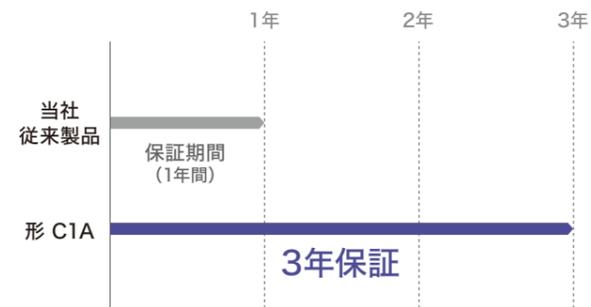
稼働時間・リレー動作回数をアセット情報として記録します^{※2}。
例えば、制御出力のリレー動作が一定回数を超えた時点でイベント出力が可能です。

※1 Condition Based Maintenance
※2 オプション形番(拡張データメモリ付き)を選択した場合



安心の3年保証

長年の実績と信頼性の高い設計により長期保証を実現。
標準で3年間、保証します。



ヒータ保守

ヒータ劣化を監視

ヒータの状態監視には、抵抗値をモニタすることが有効です。
形 C1AではVT(ボルテージトランス)入力とCT(カレントトランス)入力からヒータの電圧値と電流値を実効値(TrueRMS)として計測可能。
その実効値からヒータ抵抗値を計算し、モニタ(表示、通信)することで、ヒータのコンディションを常に把握できます。

